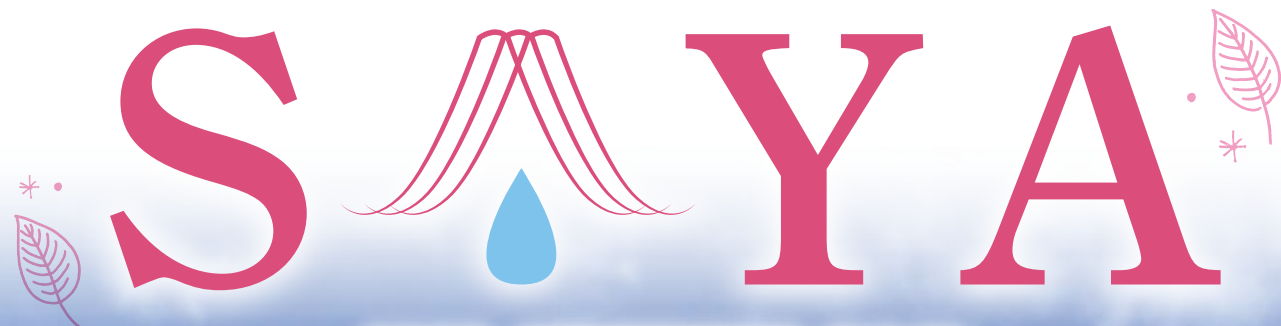


名和内科・巢南リハビリセンター 広報誌「清」^{さや}



2025 SEPTEMBER Vol.16



医療型サービス付き高齢者住宅巢南

岐阜清流病院 広報誌「清」^{さや}



2025 SEPTEMBER Vol.16



歯科口腔外科スタッフ

challenge

肩から膝まで

地域を支える整形外科へ

岐阜清流病院の挑戦

岐阜清流病院ではこのたび肩・肘関節を専門とする寺林医師を迎え、膝のエキスパートである松本病院長と共にますますパワーアップ。患者さんの「人生の質」を支える整形外科の今とこれからについて聞きました。



インタビュー動画は
こちらからご覧いただけます



整形外科部長
寺林 伸夫

病院長兼整形外科医
松本 和

専門医等

日本整形外科学会専門医
日本スポーツ協会公認スポーツドクター
日本肩関節学会（代議員）
中部日本整形外科災害外科学会（評議員）
東海関節鏡研究会（幹事）
東海スポーツ傷害研究会（幹事）

専門医等

日本整形外科学会 専門医
日本膝関節学会（評議員）
日本スポーツ整形外科学会（評議員）
日本人工関節学会（評議員）
日本 Knee Osteotomy & Joint Preservation 研究会（評議員）

Q お二人の専門について教えてください

松本 病院長として病院の運営に関わりながら、整形外科医として専門の膝関節を中心に診療を行っています。最新の手術支援ロボット「ROSA（ロザ）」を用いた人工関節手術を取り入れ、地域の患者さんからの信頼が少しずつ広がる中、寺林医師が加わったことを嬉しく、また心強く思っています。

寺林 2025年4月から整形外科部長として岐阜清流病院に赴任しました。専門は肩関節と肘関節です。今まで岐阜清流病院は下肢関節の治療が主であり、これは「移動」や「生きているために必要な機能」の再建でした。これからは私の専門である肩や肘などの上肢関節の、「より人間らしい生活ができるような機能」を回復させていくこともできるようになりますので、地域や県内の皆さんに更により良い医療が提供できるのではないかと考えています。

Q 寺林医師の入職により、整形外科がどのように強化されましたか

寺林 私はスポーツ障害を含む上肢関節を専門としており、岐阜清流

病院では今まで扱っていなかった分野の専門的な治療ができます。昨今、高齢化が進む中で肩や肘の痛み、動きが難しくなっている方が増えています。またスポーツをしている若年層にも、肩の脱臼や肘の故障などが多く見られます。私に加わったことで、地域ニーズにより幅広く応えられる体制になったと思います。

Q 岐阜清流病院の整形外科チームの強みは何ですか

松本 現在、整形外科医は4名在籍しています。週1回程度、リハビリスタッフとカンファレンスや海外の文献を読む勉強会を開催しています。特に整形外科分野は手術だけではなく、看護師やリハビリスタッフとのチーム連携がとても大事です。私たちは密に連絡を取り合い、整形外科医として息の合ったチームワークで医療に取り組んでいます。

寺林 当院はこういった横のつながりがとてもよく、職種を越えて患者さんを支える体制が整っています。病院長から話が合ったように、リハビリスタッフや看護師との連携も強く、これは当院の大きな強みだと思います。

Q どんなときに整形外科を受診すればよいでしょうか

寺林 まず整形外科というのは首から下の骨、靱帯や腱に不具合がある場合に受診していただきたいのですが、私の専門でいえば「ちよっと肩が上がる」「肘を動かすと痛くて困る」など、小さな不調でもお気軽にご相談ください。早めの対応で、手術以外の注射療法やリハビリなどの保存治療もご提案できますのでお気軽に受診してください。

松本 私は膝の痛みを抱える患者さんを診る機会が非常に多いのですが、「近くのクリニックで治療しているけれど効果が乏しい」といった患者さんは一度当院にお越しいただければと思います。我々は手術をメインにしていますが、患者さんの人生や生活背景も含めて、一生元気に動けるよう、一緒に考えていきます。まずは「不安を相談する」ことが第一歩です。

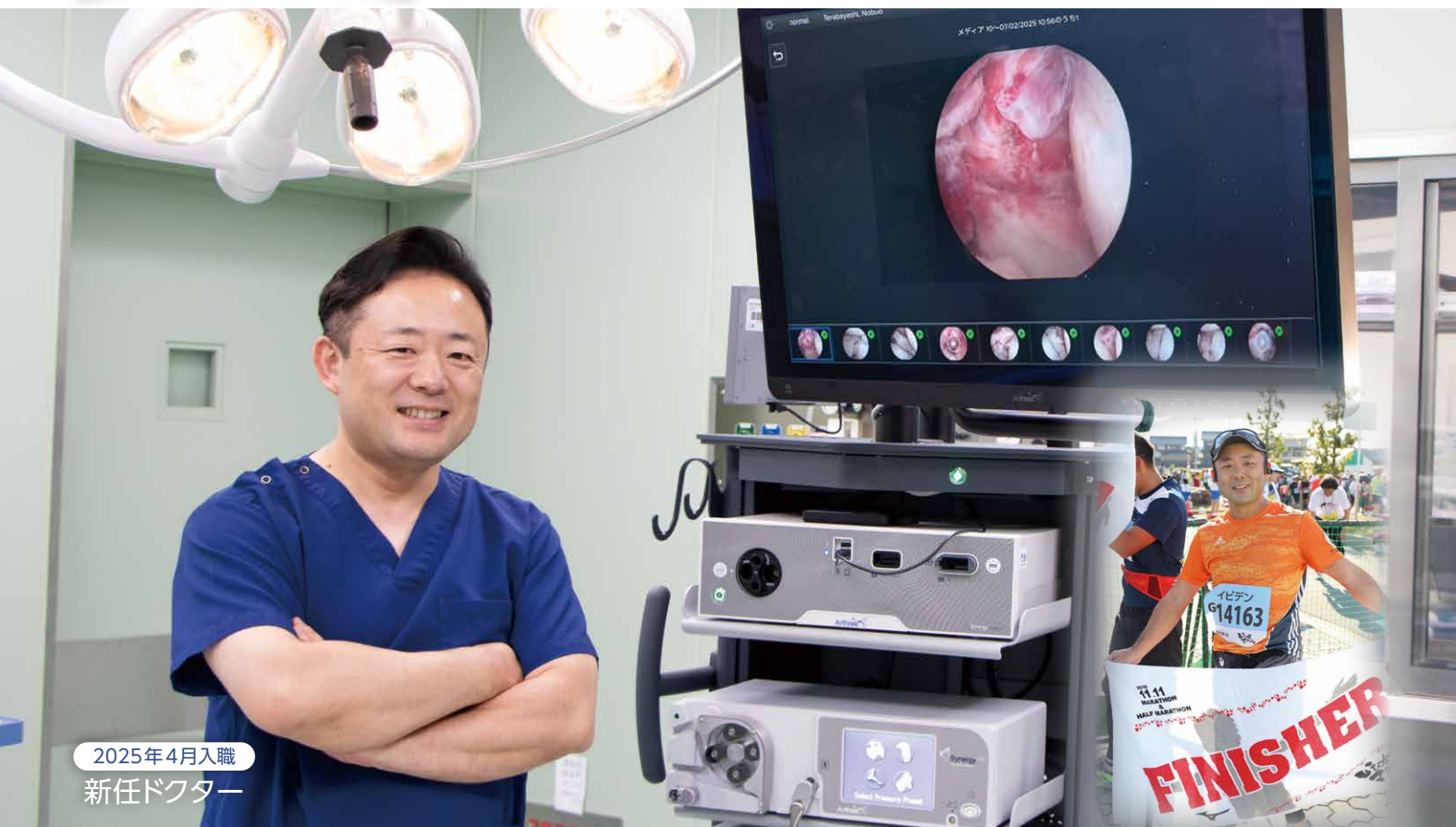
Q 今後、整形外科はどのような医療を目指していきますか

松本 整形外科は「人生の質」にかかわる診療科です。日頃からスタッフには伝えていますが、「最新の知識と技術をもって、最高の医療を提供し、患者さんに喜んでいただく」ということを常に目指していきたいと考えています。

寺林 「ここに来たら大丈夫」「整形外科なら岐阜清流病院」という病院を作り上げたいと考えています。膝関節に関してはロボット手術も取り入れていますし、内視鏡も最新のもので対応しています。より先端的な治療もできるよう努めていきたいです。また、大きな病院というのは最新の機器があり、たくさん医師やスタッフがいて高度な治療ができる反面、フットワークが重かったりすることがあります。当院はちょうどいいサイズ感で、地域のクリニックとの連携についても、ご紹介いただいた患者さんに迅速に対応できるような体制を整えています。患者さんにとって、より身近で頼れる整形外科でありたいですね。

TEAM SEIKOUKAI

清光会グループで活躍中のスタッフを紹介します！

2025年4月入職
新任ドクター

●整形外科とは？

整形外科は、首から下の骨、筋肉、靱帯、神経といった“運動器”の不具合を治療する診療科です。骨折や打撲といったケガの治療はもちろん、変形した関節を人工関節に置き換える手術や、切れてしまった靱帯・腱の修復も行います。近年では、ロボットを活用した高精度な人工関節手術や、高解像度の内視鏡を用いた精密な関節内手術も普及しています。当院では膝関節のロボット手術や、最先端の内視鏡を用いた治療が可能です。

●専門とする治療分野

私は医師として25年間、大学病院や県内外の医療機関で整形外科に従事してきました。その中で特に関節外科を専門とし、肩関節およびスポーツ障害に関連する肘関節の治療を中心に取り組んでいます。

●肩の痛みの原因について

「五十肩」という言葉を耳にされた方も多いと思いますが、その名称は江戸時代から使われているもので、原因がはっきりしないまま使われ続けているケースもあります。実際、肩の痛みは骨だけでなく、腱や筋肉などさまざまな組織が関与しており、原因を特定するにはレントゲンだけでなく、MRIやエコー検査が重要です。

特に中高年に多い「腱板断裂」は、MRIや高性能なエコー検査で画像診断が可能です。当院では、外来にエコーを常備し、迅速な診断体制を整えています。

●肩関節の治療について

診断ののち、患者さんの状態に応じた治療法を選択します。注射療法では、薬液を正確に患部に届けるため、エコーを用いたガイド下注射を行っています。また、リハビリは非常に重要で、リハビリスタッフと連携し、個々に最適な運動療法を提供します。

さらに、手術が必要な場合は、患者さんの病態にあわせて内視鏡による低侵襲手術から人工関節手術まで幅広く対応しています。これまで多くの肩関節手術を経験しており、当院でもより迅速かつ的確な治療の提供に努めてまいります。

上肢関節は日常生活の質に大きく影響します。ひとたび機能が低下すると、日常動作に大きな支障が出てしまいます。当院ではこれまで膝関節をはじめとする下肢関節治療やロボット手術を通じて、地域の皆さまの歩行機能の向上に尽力してきました。今後は上肢関節の治療にも力を入れ、より快適な生活の実現に貢献できるよう、関節外科の体制を一層充実させていきたいと考えています。

●自己紹介

2025年3月、施設長として当施設に着任いたしました。それまでは、津市が運営する老人保健施設で20年以上勤めてまいりました。社会福祉士として支援相談員を担当しながら、最終的にはフロアー統括として現場をまとめる立場で働いておりました。施設の民営化に伴い、縁あって医療型サービス付き高齢者住宅巣南（以下：サ高住巣南）の施設長として働くことになりました。

仕事を頑張るうえで休日の過ごし方も大切にしています。10年程前からジョギングが趣味で、最初は2kmくらいしか走れませんでした。現在はフルマラソンを完走できるまでになりました。また昨年、山の中を走るトレイルランも始め、普段何気なく見ていた周囲の山々の中を巡る冒険的な楽しさや、熊が出没しないかといったスリルも時に感じながら走っています。

●サ高住巣南の施設長として働き始めてみての感想

正直なところ高齢者住宅とはどんな施設なのか、外側からの大まかな知識でしか知りませんでした。施設内ですべてが完結する老人保健施設と違って、高齢者住宅は住宅だという認識の違いを理解することに少し戸惑いました。しかし、元気で明るいサ高住巣南の職員の皆

さんのおかげで、すぐに不安は解消されました。

●サ高住巣南の特徴や強み

サ高住の一般的な平均要介護度は1.8程度とされていますが、サ高住巣南は今現在（2025年6月時点）で約3.7と、重度の方も多く入居されてみえるのが特徴です。施設名に「医療型」とあるように、夜間の吸引や在宅酸素やポート管理など医療依存度が高い方の受け入れも可能です。その背景には法人内の連携が大きく関わっており、施設の強みだと感じています。

●今後の意気込み

立場や役割は今までと違いますが、過去に培ってきた介護観を頼りに自分の軸を大切にしていきたいと思っています。どれだけ高い理想を掲げても、1人でできることは限られています。過去の経験からすべては「人」だと考えております。自然と人が人を呼びつなげていく、そんな施設にしていきたいです。ご利用者さんやご家族の皆さんとの関わりはもちろん、サ高住巣南で働く職員との関係性も大切にして、職員同士がお互いに支え合い助け合える、そんな明るい雰囲気施設のこれからも元気に目指していきます。



巣南リハビリセンター【デイケア】 活動内容の紹介

生き活きとした生活が続けられるように、やりがい・生きがいの達成を支援しています

●リハビリ

さまざまな日常生活動作の訓練や楽しみながら取り組める集団プログラムなど、幅広い訓練内容を提供しています。



●趣味活動

からだもあたまも活性化！趣味活動や作品作りにも力をいれています。



是非、当施設のサービスを体験してください♪
お試し体験の問い合わせ先 TEL：058-328-7506 (担当：渡辺)

巣南デイサービスセンター 活動内容の紹介

穏やかな毎日を過ごせるよう、お一人ひとりに寄り添うケアを

巣南デイサービスセンターでは住み慣れたご自宅での生活を継続できるよう、利用者さんの能力に合ったケアの提供に努めています。また、作品づくりや季節の行事を通して穏やかな時間を過ごしていただけるよう、日々のレクリエーションや機能訓練にも力をいれています。

●スタッフ紹介

今年の3月、巣南デイサービスセンターの社員となった臼井常世さん。若年性認知症の診断を受けて長年勤めた会社を退職しました。「若年性認知症になっても、できることがあると伝えたい」という思いを持ち、新たな就労意欲を持つ中で当施設とのご縁があり、介護助手として新たな生活をスタートさせました。介護職員のフォローを受けながら出来ることに精一杯取り組み、認知症当事者ならではの目線で利用者さんに寄り添い、温かい笑顔で接しています。



是非、当施設のサービスを体験してください♪
お試し体験の問い合わせ先 TEL：058-328-5683 (担当：高木)

巣南リハビリセンター ボランティアさん大募集！(傾聴、軽作業、レクリエーション等、内容は幅広く募集)

詳細はお気軽にご連絡ください。 TEL：058-328-3387 担当：森/佐々

名和内科 瑞穂市重里2005 TEL:058-328-3311 グランフォート清流 瑞穂市本田908-1 TEL:058-329-5001
巣南リハビリセンター 瑞穂市重里1996 TEL:058-328-3387 清流ぶらす 瑞穂市別府1227-1 TEL:058-216-6360



2025年3月・5月・7月

リハビリスタッフ希望者向け 病院説明会を開催しました

リハビリ職を目指す学生・求職者の皆さんを対象に病院説明会を開催しました。病院概要の説明、施設・医療現場の見学に加え、現職OBとの交流会も実施し、現場の雰囲気や働く魅力を直接感じていただけた機会となりました。皆さんの未来を切り拓く一助となるよう、今後も実りある説明会を実施していきます。



2025年5月・6月

岐阜大学ヘルスシステム演習

岐阜大学医学部医学科1年生を対象としたヘルスシステム演習を受け入れました。医師を含む多職種と患者さんの関わりや、医療現場の実際を感じていただけるよう、さまざまな体験や見学をプログラムに組み込みました。現場スタッフに質問する医学生の真剣な眼差しが、とても印象的でした。



歯科口腔外科コラム

記事執筆 歯科口腔外科医長 井上 敬介 先生
歯科口腔外科専門医

第2回 治らない口内炎 — それ、本当に口内炎ですか？

口内炎は、多くの方が一度は経験する身近な症状です。疲れがたまっていたり、舌や頬を噛んでしまったりしたときにできやすく、通常は1～2週間で自然に治ることがほとんどです。しかし、なかには「なかなか治らない口内炎」があります。

2週間以上治らない場合は要注意です。

数年前、某有名人の公表で話題になりましたが、口内炎だと思っていたものが、実は「口腔がん」だったということがあったからです。口腔がんは、口の中にできるがんの総称で、舌や歯ぐき、頬の粘膜などに発生します。初期には痛みが少なく、ただの口内炎のように見えることが多いため、発見が遅れがちです。実は近年、口腔がんの発症患者数は増加傾向にあります。(2020年では約1万人が新規発症)

口腔がんの疑いがある特徴として、以下のよう

- 2週間以上治らない潰瘍(ただれや傷)
- 触ると硬いしこりを感じる
- 白や赤の斑点がある
- 痛みが続く、出血や膿がある
- 飲み込みにくさや、顎や舌の動かしにくさがある

こうした症状がある場合は、「そのうち治るだろう」と様子を見るのではなく、早めに口腔外科を受診してください。口腔がんは、早期に発見されれば予後は良好です。しかし、進行して発見される場合は、治療が難しく予後も悪くなります。

「たかが口内炎」と軽く考えず、「いつもと違う」「治りが遅い」と感じたときは、早めに診察を受けることが大切です。口の中は自分で見えにくい場所だからこそ、気づいた時の行動が、健康を守る第一歩になります！



【歯科・歯科口腔外科・小児歯科】
外来 月～金曜日 9:00～12:30 / 14:00～17:30 ※土日祝日休み
TEL.058-239-8255(歯科直通)

歯科口腔外科
ウェブサイト



岐阜清流病院 岐阜市川部3丁目25番地 TEL:058-239-8111(代)